



2024年5月 セキュリティ対応状況と検知状況

2024年6月
東日本電信電話株式会社

セキュリティ対応状況

2024年5月9日（現地時間）に、セキュリティベンダであるソフォスより年次調査レポート「ランサムウェアの現状2024年版」が公開されております。調査結果によると、ランサムウェア攻撃を受けた企業や組織の割合は59%となり、2023年次調査の66%からわずかに減少しております。しかしながら、身代金を支払った企業や組織が報告した平均支払額は2023年次調査の40万ドル（約6,300万円/1ドル157円換算）から5倍の200万ドル（約3.1億円）に増加しており、引き続き警戒が必要な状況です。

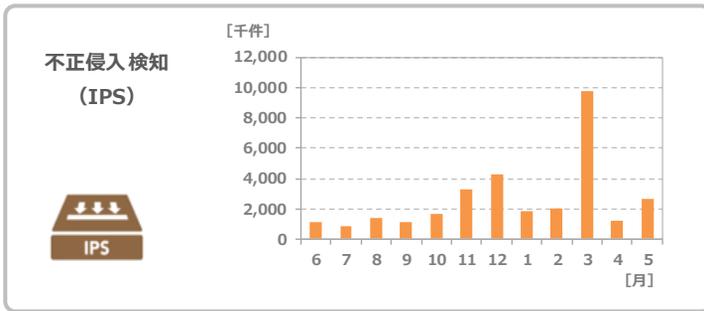
脆弱性が悪用された場合は、バックアップが侵害される割合・身代金を支払う割合・データが暗号化される割合が高く、企業や組織が受ける影響が深刻になる傾向があります。対策としては、OSやアプリケーションの定期的なアップデートの適用、不審なメールに添付されているファイルを開かないといった基本的な対策が重要となります。

※ソフォス <https://www.sophos.com/ja-jp/press/press-releases/2024/04/ransomware-payments-increase-500-last-year-finds-sophos-state>

セキュリティ検知状況

- ・ おまかせサイバーみまもり専用BOXで検知したアラート数をNTT東日本が集計
- ・ 集計期間：2023年6月～2024年5月

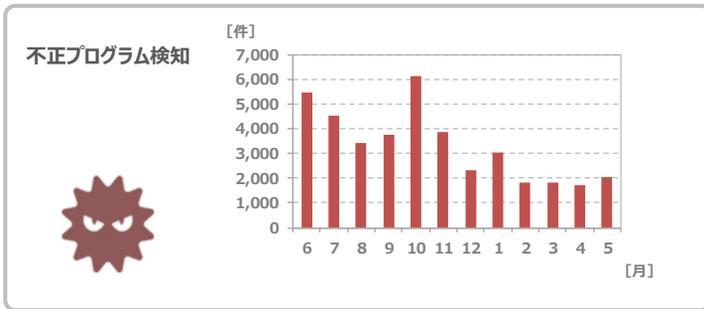
不正侵入検知



直近12カ月平均：2,594,565件
2024年5月：2,684,258件

直近12カ月の月平均に比べ高い検知状況となりました。
引き続きサーバ等を公開する際には十分にセキュリティ対策を実施してください。

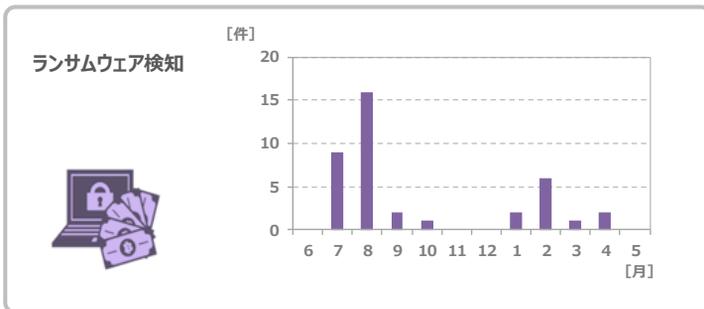
不正プログラム検知



直近12カ月平均：3,334件
2024年5月：2,025件

直近12カ月の月平均に比べ低い検知状況が継続しています。
Emotetなどの不正プログラムについては、引き続き十分に注意してください。

ランサムウェア検知



直近12カ月平均：3件
2024年5月：0件

5月は検知数が0件となり、直近12カ月の月平均に比べ低い検知状況が継続しています。
ランサムウェアには、引き続き十分に注意してください。